

ボランティア・NPO

こんにちは、支援センターです。

新年明けまして、おめでとうございます

昨年は当支援センターの運営等にいろいろご支援いただき、ありがとうございました。

当支援センターは、平成9年9月に設置以来12年余りの間、ボランティア・NPOの支援に取り組んできているところですが、現在では、多くのボランティア・NPO（県ボランティアセンター登録団体約1,600、県認証NPO法人約270）が、福祉をはじめ国際協力、環境保全、災害救援など様々な分野で活躍されています。当支援センターは、これからもボランティア・NPOの運営・事業等について支援を行うとともに、皆様と一緒に、県民総ボランティアの輪を広げ、心豊かでふれあいある地域社会の実現を目指して取り組んでいきたいと思ひます。



また、本年もボランティア・NPOの皆さんのご意見、ご提言を十分お聞きしながら、ご要望に応えることができるよう頑張りたいと考えていますので、ご支援、ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

ボランティア・NPO大会への多数のご来場ありがとうございました！



「第21回富山県民ボランティア・NPO大会」を10月30日（金）・31日（土）の両日、富山県総合福祉会館において開催いたしました。

1日目は、式典では、犬島伸一郎大会長の挨拶、知事祝辞のあと、厚生労働大臣表彰伝達、知事表彰、ボランティア活動推進富山県民会議会長表彰が行われ、最後に参加者全員で大会アピールを採択しました。また、式典終了後には、『「ボランティア」に、する人・受ける人の配役はありません』をテーマに、矢崎由美子さん（阪神大震災の語り部／骨髄バンクボランティア）からご講演いただきました。



2日目は、ボランティア・NPO団体、学生ボランティアの活動発表や作品展示・販売、ワークショップ、そして、県内の自治体マスコットが集まった「元気とやま！きぐるみ大集合」など、多彩な催しを行いました。今年の大会では、初めて県内の大学・短大（富山国際大学、高岡法科大学、富山短期大学、富山福祉短期大学）の学生ボランティアの皆さんにも、大会の運営や活動発表などでご協力いただきました。お陰様で、大変賑やかな大会となりました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

ボランティア・NPO大会開催結果概要

来場者数（2日間）：延べ840名
参加団体数：80団体（当日参加スタッフ数151名）
運営ボランティア：47名

収集ボランティアコーナー（ペットボトルキャップ）
大会2日間での持ち込み数：13,381個（16人分）
（約800個でポリオワクチン1人分）
大会前にお持ちいただいた分を含めると56,000個（70人分）になりました。
ご協力ありがとうございました。



ボランティア「一言メッセージ」投票者数：151名
スタンプラリー参加者数：175名
来場者アンケート回答者数：166名

☆☆☆支援センター活動報告☆☆☆

「平成21年度第3回、第4回NPOマネジメント研修」を開催！

11月27日（金）「第3回NPOマネジメント研修」を開催しました。全国各地でNPOのマネジメントをテーマとした研修会の講師としてご活躍の永沢 映さん（NPO法人コミュニティビジネスサポートセンター代表理事）を講師にお招きし、「事例から学ぶNPOの成功と失敗の別れ道」と題して、NPOを運営していく際のポイントについて学びました。永沢さんからは、多くの事例の紹介を通して成功している団体は何が違うのか、成功するためにはどうすべきか、などについてお話ししていただきました。

受講者の感想は、ほとんどが、「大変参考になった」、「今後の活動に活かしたい」といったものでした。

また、12月18日（金）には「第4回NPOマネジメント研修」を開催しました。市民活動センター神戸事務局長の実吉 威さんをお招きし、「NPOの情報発信力・広報力アップのポイント」と題して、広報に関する基本的事項について学びました。また、各団体が持ち寄ったチラシやポスターについて、良い点・悪い点を解説していただき、どのように改善すべきかについてのヒントもいただきました。

受講者からは、「今まで自己流でチラシを作っていたが、大変参考になった。」などと大変好評でした。



「NPO法人労務管理基礎講座」を開催！！

12月22日（火）「NPO法人労務管理基礎講座～労働保険・社会保険の手続きと労務管理～」を開催しました。社会保険労務士の森澤光雄さんを講師にお招きし、職員を雇用したときに必要な社会保険や労働保険の手続きなどの労務管理の基礎を学びました。森澤さんからは、NPO法人も企業と同じで職員を雇用すれば義務が発生し、手続きが必要であることや、職員を雇い入れた時には後にトラブルとならないよう「労働条件を明示」することが大切であることなどをお話ししていただきました。



NPOなんでも相談室 （支援センターに相談があったものを編集して掲載しています。）

Q 車両購入助成金(100万円)をもらって、車両(150万円)を購入したときの仕訳はどのようになりますか？

A 「企業会計に準じた仕訳」と「改正前の公益法人会計（NPO法人特有の1取引2仕訳）による仕訳」の2通りがあり、それぞれについてお答えします。各法人の会計の仕方によって、どちらかになると思われます。

☆企業会計に準拠

				(単位万円)		
1	助成金の受取	普通預金	100	／	助成金収入	100
2	車両の購入	車両	150	／	普通預金	150
(3 損益計算書作成)						
4	組み替え仕訳	車両購入支出	150	／	車両購入額	150

☆改正前の公益法人会計

1	助成金の受取	普通預金	100	／	助成金収入	100
2	車両の購入	車両購入支出	150	／	普通預金	150
	(1取引2仕訳)	車両	150	／	車両購入額	150

Q では、車両(150万円)を寄贈（無償）された場合の仕訳はどうなりますか？

A こちらも、2通りの仕訳をお答えします。

☆企業会計に準拠

1	寄贈された時	車両	150	／	車両受贈益	150
(2 損益計算書作成)						
3	組み替え仕訳	車両受贈益	150	／	車両受贈額	150

☆改正前の公益法人会計

1	寄贈された時	車両	150	／	車両受贈額	150
---	--------	----	-----	---	-------	-----

～ NPO法人紹介 ～

NPO法人の活動を紹介するコーナーです。「子どもの権利支援センターぱれっと」の高山副理事長に、射水市三ヶの事務所でお聴きしました。

Q1 主な活動内容をお聴かせください。

子どもたちの声を聴き、安心できる居場所を作り、保護者や地域の方々と共に語り合いながら、子どもたちが幸せに生きられる社会を目指して、以下の活動を展開しています。

<居場所事業> ※ () の中はH20実績

射水市との協働事業として、子どもたちの居場所「射水市子どもの権利支援センターほっとスマイル」を運営しています。(開所時間9:00～17:00 火・日、祝日、年末年始を除く)

日中、家庭や学校に居づらい子どもたちのために、居場所としてフリースペース等を開放しています。

(来所者6～7人/日)また、毎週水曜日には、予約制で精神科医や臨床心理士などによる無料の子ども相談も実施しています。(2～3人/回)。問題を抱えた子どもをもつ親の会を開催し、親同士が互いに相談したり、相談員がアドバイスしたりする親の会も開催しています。(10～12人/回)

<家族支援事業>

富山県からの委託を受けて、虐待をしてしまった親と子どもの関係改善をサポートするほか、要保護児童対策協議会へ参加するなど児童虐待防止活動に取り組んでいます。

<掲示板事業>

富山大学教員有志に開発してもらったインターネットの電子掲示板システムで全国どこからでも安心して利用できる子ども相談を実施しています。(投稿120件/月、閲覧7,500件/月)

<広報・啓発>

講演やイベントなどを通して、子どもの権利支援、子育て支援などの啓発活動を行っています。私たちの法人の呼びかけで実行委員会が結成され、2009年11月14日・15日に「子どもの権利条約フォーラム in とやま」が開催され、全国から延べ約1,000名の参加がありました。

Q3 これまで苦労したこと、現在苦労していること、また、嬉しかったことなどがあれば、お聴かせください。

権利侵害を受けている子どもや親に経済的負担を強いることはできないと考え、ほっとスマイルでは、施設を利用する際の料金(会費)を1日100円から500円(住所と年齢で異なる)という低い金額に抑えています。足りない運営費は、射水市からの委託金・補助金、賛助会費、各種助成金、寄付金などでまかなっていますが、財政的にはいつも厳しい状態です。多くの皆さまに賛助会員としてご支援いただければと思います。

しかし、こうした苦労も、不登校やひきこもりなどでこの施設を利用していた子どもたちが元気になって、そして自分の進路を見つけて頑張っている姿を見ると、報われた気持ちになります。

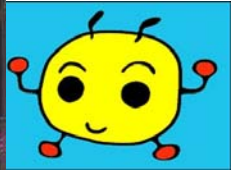
名称：特定非営利活動法人

子どもの権利支援センターぱれっと

事務所：射水市三ヶ 3652-2

電話：080-3041-9569

理事長：明橋 大二



Q2 活動のきっかけをお聴かせください。

子どもたちをとりまく社会環境は、日に日に複雑になり、悲しい事件や事故が連日報道されています。そして、いじめ・不登校・ひきこもり・児童虐待など、子どもの支援を必要とする場面は、私たちのごく身近で起こっています。

そうした中で、子どもたちの声を聴き、子どもたちが安心できる居場所を県西部にも作りたいとの思いを抱く有志が集まり、平成15年にNPO法人を設立しました。そして、子どもの権利を保障し、子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた「子どもの権利条約」と「射水市子ども条例」に基づき、子どもの権利を守り、地域住民に啓発する活動を通して、地域で、子どもたちの心がすこやかに、のびのびと育てゆくことを支援したいと思い、活動を始めました。





Q 4 今後の目標をお聴かせください。

「子どもの権利」という言葉は、一般にはまだまだ浸透していません。そのため、権利侵害を受けていながら、そのことに気づいていない子どもや大人も多いと思います。私たちも、もっと広報・啓発に力を入れていかなければならないと思っています。

また、「子どもの権利支援センター」が行っている事業を知らずに悩んでいる子どもたちが、まだまだ大勢います。そうした子どもたちには、自分で悩みを抱え込まないで、ぜひセンターを利用してもらいたいと思います。そして、そのような子どもたちを支え、悩みを解決する手助けができれば、これ以上の喜びはありません。

これからも、保護者や地域の方々と共に語り合いながら、子どもたちが幸せに生きられる社会、そして、老若男女、障害の有無に関わらず、すべての人の権利が大切にされ、尊重される地域社会を目指して活動していきたいと思っています。

続いて、「アートNPOヒミング」の活動紹介です。氷見市北大町の「ヒミングアートセンター」にて、高野理事長と鎧高理事にお聴きました。

Q 1 主な活動内容をお聴かせください。

氷見を共創する拠点形成事業として、氷見の歴史的建造物である石蔵を大規模改修し、通年で運営できる活動拠点（アートセンター）を設けました。定期的に展覧会、ワークショップや上映会等を開催するほか、カフェも併設しており、人々の交流の場ともなっています。

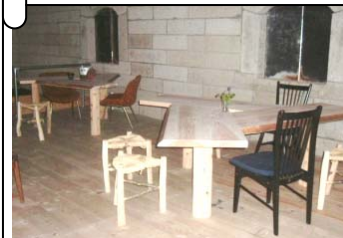
木造和船天馬船の技術の伝承・記録を図る事業として、過去3年にわたるアートプロジェクトにより建造した2艘の天馬船で櫓こぎの技を伝えるためのレースを開催しました。櫓を操り、風や潮をよみながらの櫓こぎは、日本の無形の文化であり、経験のない子どもたちに先達はその技を伝え、歴史を語ることは、氷見の文化を伝承することにもなると考えています。この事業が、新しい創造的な活動へつながればいいなと思っています。

循環型の自然環境を見直す事業として、かつて大きな土砂崩れがあり、再発防止のために山の頂を削って出来た八代地区国見の「天空平」を利用して、いろいろな催しを行いました。森の中でのライブ、キャンプファイヤーや食のマーケット、ワークショップなどです。

いろんなことをやっているように見えますが、ひとつひとつの事業は、その土地に根付いたものから新しい価値を見出し、未来につなげる動きを作りたい、そんな共通の思いで繋がっています。



名 称：特定非営利活動法人
アートNPOヒミング
事務所：氷見市北大町7-6
理事長：高野 織衣



Q 2 活動のきっかけをお聴かせください。

平成15年に市内の建築家を中心とした有志が、阿尾漁港前の番屋を利用した「蔵再生プロジェクト」を行いました。16年からは、そのメンバーも含めてアートを通じて氷見を再発見しようというプロジェクトが動き始め、アートの眼で捉えた氷見を映像表現として発表する「氷見クリック」が始まりました。また、18年には発見した地域の魅力あるものを様々な形で活かそうと、使われていない古い建物を利用した展覧会や「竹ドーム」でのコンサート、「天馬船レース」もスタートしました。このため、「氷見クリック」の枠の中だけでは収まりきらなくなったため、全てのプロジェクトを含む意図で「ヒミング」と名前を変えました。

ヒミング/himmingとは、「氷見+ハミング」とした造語で、「氷見（ヒミ）」の響きを大切に、「ハミング」の持つ爽やかさ、調和、和音、リズム、幸、平和を大切に、そんな団体をめざして付けました。語尾にINGがつくことで現在進行形で変化する氷見のイメージも込めています。

その後、19年には「天空平」でのコンサートを開催し、20年にはアートセンターという活動拠点を持つことができ、定期的な展覧会やワークショップ、上映会なども行うことが可能になりました。

このように活動の実績を積み重ねてきましたが、より一層の組織体制や財務基盤の強化などのために法人格を取得することとし、21年NPO法人として再スタートしました。

Q3 活動を始められての苦労や喜びなどがあればお聴かせください。

何年もの活動を経てNPO法人となったので、法人化する際には、苦労は特に感じませんでした。どのように資金を確保するかなどの課題はありますが・・・。

新しいものを作り出すこともいいのですが、今あるものの価値を見出す、再発見する、そんな喜びが私たちの活動にはあります。そして、いろんな人と出会え、いろんな体験ができるといった喜びもあります。ですから、もっともっと多くの人に参加してもらい、同じ喜びを感じてもらいたいですね。



Q4 今後の目標をお聴かせください。

今後は、事業を継続していくための人材の確保・育成やNPO法人として自立していくための事業の確立などが必要と考えています。また、今後とも、アーティストたちと協働で、新たな地域資源を発見し、育成し、そして伝達していきたいと思っています。そして、一般の方々にも、展覧会やワークショップ、天馬船レースなどの各事業を通じて、氷見の様々な地域資源を体験してもらえよう取り組んでいきたいと思っています。

丸谷芳正展『sugar production森は静かな工場』開催中。HP参照のこと。 <http://www.himming.jp/>

支援センター等相談会・講習会情報

NPO法人税務・会計事務相談会（富山会場・砺波会場） 相談者募集

富山会場

日時：1月13日（水）13：30～16：00

場所：富山県総合福祉会館（サンシップとやま）3階 交流会議室（富山市安住町5-21）

砺波会場

日時：1月14日（木）13：30～16：00

場所：富山県砺波総合庁舎 本館105号室（砺波市幸町1-7）

相談時間：原則1団体あたり30分または60分

募集团体：両会場とも 5～6団体程度（先着順）

講師：北陸税理士会所属の税理士

内容：NPO法人の税務及び会計事務全般に関する個別相談会

相談料：無料 申込先：富山県民ボランティア総合支援センター

第2回NPO会計税務集中講座（実務者向け）

（企業会計に準拠した）複式簿記の決算事務の連続3回講座です。

日時：1月22日（金）、26日（火）、29日（金） 各日とも18：30～20：30（2時間）

場所：富山県総合福祉会館（サンシップとやま）6階 601号室（富山市安住町5-21）

講師：千田 篤氏（公認会計士、税理士）

対象：NPOの会計担当者（複式簿記で法人の会計実務を担当しておられる方、過去に「NPO会計税務集中講座」（初心者向け）を受講された方）

定員：20名（応募多数の場合は、3回全て受講できる方を優先します。）

参加費：1人 1,500円

申込み締切：1月13日（水）必着

平成21年度第2回NPO法人設立講習会

NPO法人になることのメリット・デメリットから設立後の支援や税務関係までを学ぶ講習会です。

日時：2月2日（火）13：30～17：00

場所：富山県総合福祉会館（サンシップとやま）6階 601号室（富山市安住町5-21）

内容：第1部 NPO法人の設立認証手続きについて

第2部 NPO法人への支援制度について

第3部 NPO法人の税務について

定員：40名（先着順） 申込先：富山県民ボランティア総合支援センター

※同日、「NPO法人設立に関する個別相談会」を開催します。ご希望の方は、事務局にお問い合わせください。

NPO法人会計税務個別相談会 相談者募集

日 時：2月10日(水) 10:00~16:00
場 所：富山県総合福祉会館(サンシップとやま) 601号室 (富山市安住町5-21)
相談時間：原則1団体あたり30分または60分
募集团体：5~6団体程度(先着順)
講 師：千田 篤(公認会計士、税理士)
内 容：NPO法人の会計税務に関する個別相談会
相談料：無料 申込先：富山県民ボランティア総合支援センター

平成22年度助成金説明会

来年度に募集する助成金についての説明会を予定しています。詳細は、後日、チラシやHP等でお知らせしますので、ご確認のうえ、申してください。

日 時：3月25日(金) 18:00~20:30
場 所：富山県総合福祉会館(サンシップとやま) 602, 603, 604号室 (富山市安住町5-21)
募集人員：60名 1団体2名以内(先着順)
内 容：平成22年度富山県民ボランティア総合支援センターの助成金について、その他

とやまNPO協働チャレンジセミナー 「新しい地域づくりは『協働』から」

地域のことは、行政がしてくれると思っていませんか？地域のことは、市民にまかせておけばいいと思っていませんか？今回のセミナーは行政と市民がお互いを理解し、将来に向けて目標を共有していくための第一歩。さあ、今こそ、みんなで一緒に協働できることを見つけましょう！

日 時：2月17日(水) 13:00~17:00
場 所：富山県民会館 304号室 (富山市新総曲輪4-18)
講 演：「時代のニーズから生まれた『協働』の実践へ～佐賀県の挑戦から～」
川副 知子さん(特定非営利活動法人 佐賀県CSO推進機構 代表理事)
分科会：地縁組織・NPO・行政との協働など、テーマ別に4つの分科会を開催(各30名程度)
対 象：協働に取り組んでいる・取り組もうとしている方、協働に関心のある方(行政担当者・NPO・地域を活性化しようとしている地縁組織関係者)など
定員等：120名程(先着順) ・参加費：無料 ・申込締切：2月5日(金)
問合先：富山県男女参画・ボランティア課 TEL: 076-444-9012 FAX: 076-444-3479
※詳細は、HPにてご確認ください。 http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1712/index.html

ボランティア・NPOの皆様からのご意見を募集します！

今年度もいろんな研修会や講座を開催してきました。組織運営、資金調達、リスクマネジメント、情報力・広報力向上、会計税務、労務管理などなど……。講師は全国各地でご活躍の方や県内の実務者などをお迎えし、内容的にも他県等で行われている研修会に引けを取らないと思っています。受講者からも大変好評を得ています。でも、残念なのは、受講者が思ったように集まらないこと。本当にいい研修会・講座ばかりなのですけどね……。なんとか、もっと多くの人に利用してもらいたい。そこで、より魅力ある、そして多くの人に受講していただける研修会や講座にするためにはどうすればいいか、皆様のご意見をお聞かせください。内容、講師、開催日時など、どのような意見でも構いません。電話、fax、e-mailなんでも構いません。多くの皆様からのご意見をお願いします。

お問い合わせ先

富山県民ボランティア総合支援センター 〒930-0094 富山市安住町5-21 富山県総合福祉会館内
Tel. 076-432-2987 fax076-432-2988
URL <http://www.toyamav.net/>
E-Mail info@toyamav.net